

带状疱疹ワクチンについてのご案内

当院では带状疱疹ワクチンの接種が可能です

50 歳以上の方へ

水痘にかかったことのある方の带状疱疹予防としての効果が認められています。50 歳以上の方は接種可能ですので、接種をお勧めします。

带状疱疹とは

体の片側の一部にピリピリとした痛みが現れ、その部分に水ぶくれを伴う赤い発疹が出現する病気です。水ぼうそう(水痘)に罹ると治った後もそのウイルスが体の中に潜んでいて、免疫力が落ちた時に発症します。日本人成人の 90%以上が带状疱疹になる可能性があり、80 歳までに 3 人に 1 人が発症すると言われていています。特に 50 歳代から発症しやすくなります。

带状疱疹が頭部、顔面に出ると、目や耳の神経が障害され、めまい、耳鳴りなどの合併症、重症化すると視力低下や顔面神経痛など重い後遺症が残ることがあります。また带状疱疹が治った後も長期に痛みが残ることがあり、带状疱疹後神経痛(PHN)と言われていています。50 歳以上で带状疱疹になった場合、約 2 割がこの PHN になると言われています。

带状疱疹の予防(ワクチン)

带状疱疹を予防するワクチンが 2 種類あり、各々長所と短所があります。当院ではシングリックスを推奨していますが、水痘ワクチン(ビケン)の接種も可能です。

これまでは水ぼうそうの予防にも使われている水痘ワクチンを使用していましたが、2020 年 1 月に新しい带状疱疹ワクチンである「シングリックス」が発売となりました。シングリックスは 2 ヶ月間隔で筋肉内に 2 回接種しますが、2 回目の接種が 2 ヶ月を超えた場合であっても、遅くとも 1 回目から 6 ヶ月後までに接種する必要があります。

シングリックスの带状疱疹に対する予防効果は、50 歳以上の方で約 97%、70 歳以上の方で約 90%と報告されており、水痘ワクチンよりも有効性が高いと考えられます。また、水痘ワクチンは生ワクチンのため、他のワクチンを接種する場合は、27 日以上あける必要がありますが、シングリックスは不活化ワクチンのため、6 日以上あければ他のワクチンを接種することができ、免疫抑制をきたす治療を受けている方などでも接種が可能です。シングリックスを注射すると、体の中で強い免疫を作ろうとする仕組みが働くため、多くの方に注射部位の痛みや腫れがあらわれますが、副反応の多くは 3 日以内に治まります。

シングリックスは 2 回の接種が必要で、水痘ワクチンと比較すると接種費用が高額となりますが、50 歳以上のいずれの年齢層でも高い带状疱疹予防効果が示されており、带状疱疹後神経痛 (PHN) の発症を減らす効果も期待できます。

带状疱疹に対する予防接種をご希望の際は、お気軽にお問い合わせください。

(参照)

	带状疱疹予防 (ビケン)	带状疱疹予防 (シングリックス)
ワクチンの種類	生ワクチン	不活化ワクチン
接種回数	1 回	2 回(2 ヶ月後に 2 回目) 遅くとも 6 ヶ月後までに接種
予防効果	50~60%	90%以上
持続期間	5 年程度	9 年程度
料 金	¥7,700(税込)	¥22,000(税込)



室蘭太平洋病院

令和 4 年 9 月 1 日